

# 2021 であれ BOOKS

岡山の高校図書館プレゼント

であれBOOKSとは

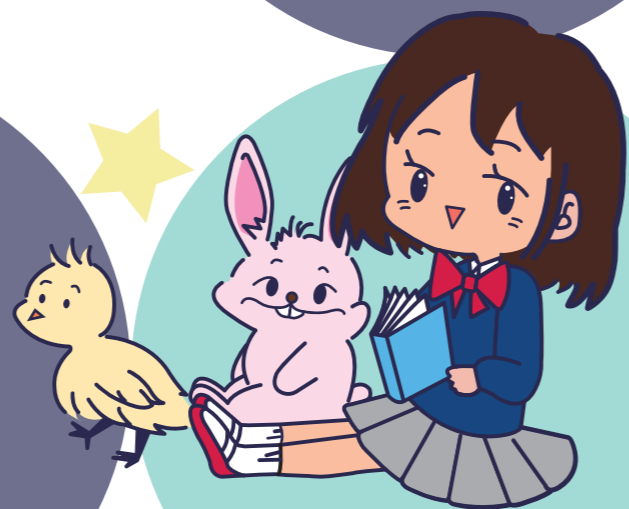
岡山の高校司書による高校生向けのおすすめ本コンテストです

図書館には多様なジャンルの本があることを知ってもらいたい！という願いから、小説以外のおすすめ本を選考対象としています。

岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会が主催し、今回で8回目となります！

であれBOOKS2021は、コロナ禍で今までとは違う生活が求められる中、本を読んだ後に自らの人生を自分自身で考えて欲しいという希望が反映された選考結果になりました。

## 大賞



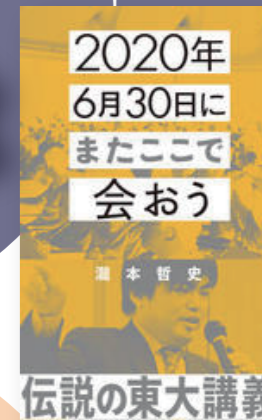
2位



『タネの未来』  
僕が15歳でタネの会社を起業したわけ  
小林 宙 / 家の光協会

3位

『2020年6月30日に  
またここで会おう』  
瀧本 哲史 / 星海社



『なんのために学ぶのか』

池上 彰 / SBクリエイティブ

### 著者からのメッセージ

なんのために学ぶのか。私も中学や高校時代、この疑問を抱きました。親に疑問をぶついたら、「大人になったらわかるよ」と言われました。たしかにその通りでした。でも、大人になる前に、皆さんにわかってもらいたいと考え、あえて書いてみたのが、この本です。中学や高校の教科書は、いまになって読み返すと、実によくできています。教科書をマスターすれば、無敵の大人になれます。社会に出てからも成長し続けるために学ぶのです。健闘を祈ります。

### ノミネート作品



『わたしの外国語漂流記』  
阿部 賢一〔ほか〕(著)  
河出書房新社(編)  
河出書房新社



『なぜ僕らは働くのか』  
池上 彰(監修)  
学研プラス



『おとめ六法』  
上谷 さくら、岸本 学  
KADOKAWA



『ドラえもんを本気でつくる』  
大澤 正彦  
PHP研究所